

## 2007 年 8 月の東北地方の天候

### 【 8 月の特徴 】

- ・ 中旬の高温
- ・ 遅い梅雨明け
- ・ 台風第 5 号の上陸

#### ( 1 ) 2007 年 8 月の概況

この期間、前半を中心に太平洋高気圧の北への張り出しが強かった。しかし、強まったのは 8 月に入ってからだったため東北南部、北部とも梅雨明けは遅かった。4 日には台風第 5 号が日本海から津軽半島と下北半島に上陸、通過した。台風第 5 号が温帯低気圧となって東海上へ去ったあとは、次第に太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が続いた。特に中旬には高気圧の勢力が強まり、東北地方でも日最高気温の 1 位の値を更新するところがあるなど、記録的な暑さとなった。下旬には寒冷前線の通過や秋雨前線の影響で各地で大雨となり、土砂災害や浸水害などが発生した。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

#### ( 2 ) 各旬の天候経過

**上旬：**期間のはじめに太平洋高気圧が張り出し、東北南部は 1 日ごろ梅雨明けしたとみられる。

4 日は台風第 5 号が日本海から津軽半島と下北半島に上陸、通過したため、東北北部を中心に雨となった。その後、暖湿流と上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、東北北部を中心に曇りや雨となる日が多く、発雷したところが多かった。岩手県では 6 日に降雹による農作物の被害と落雷による停電が発生し、7 日には海岸で落雷による死者が出た。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

**中旬：**中旬に入り太平洋高気圧が強まり、東北北部は 11 日ごろ梅雨明けしたとみられ、期間の半ば過ぎまでは晴れて暑い日が多かった。15 日には仙台で 37.2 度、大船渡で 37.0 度、石巻で 36.8 度、白河で 35.2 度の日最高気温を観測し 1 位の値を更新した。また、16 日には小名浜で日最高気温の 2 位の記録となる 36.9 度を観測した。期間の後半は北に偏った高気圧、前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨となるところが多かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北地方で多い。

**下旬：**前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。21 日には上空を気圧の谷が通過したことや下層の暖気移流の影響、また、22 日には寒冷前線が通過し雷を伴って激しい雨となったため、岩手県、秋田県、山形県、福島県で浸水害や土砂災害などが発生した。24 日から 26 日までは高気圧に覆われておおむね晴れたが、27 日には朝鮮半島付近から伸びる前線の影響で、秋田県南部では未明に短時間の激しい雨に見舞われ、土砂崩れや床上床下浸水が発生した。その後前線は次第に南下し、28 日以降は曇りや雨の日が多かったが、東北北部では晴れの日もあった。

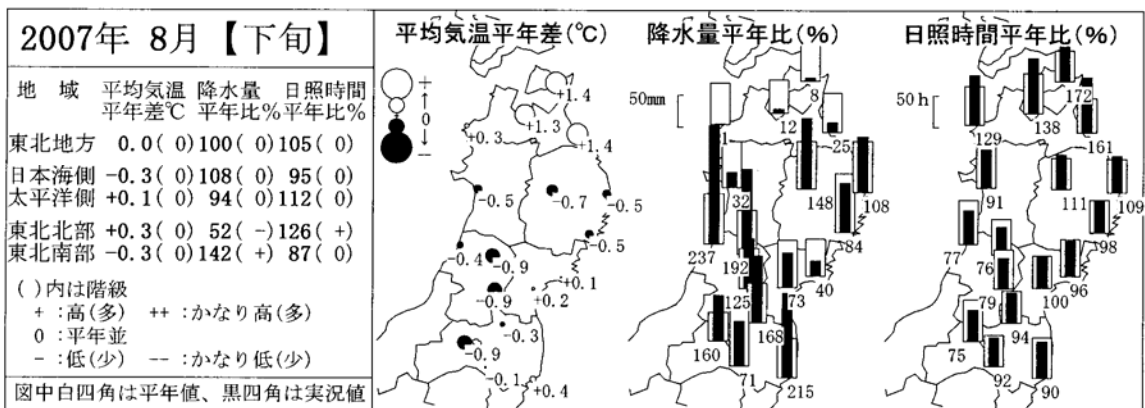
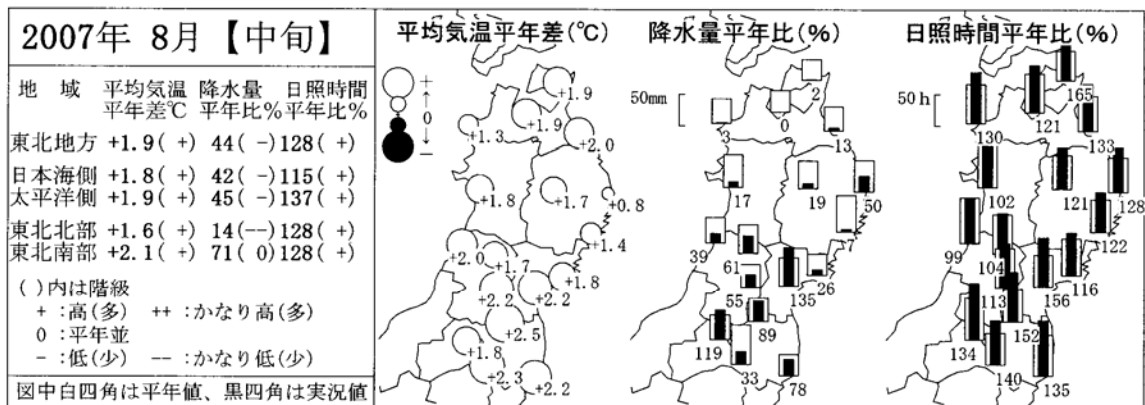
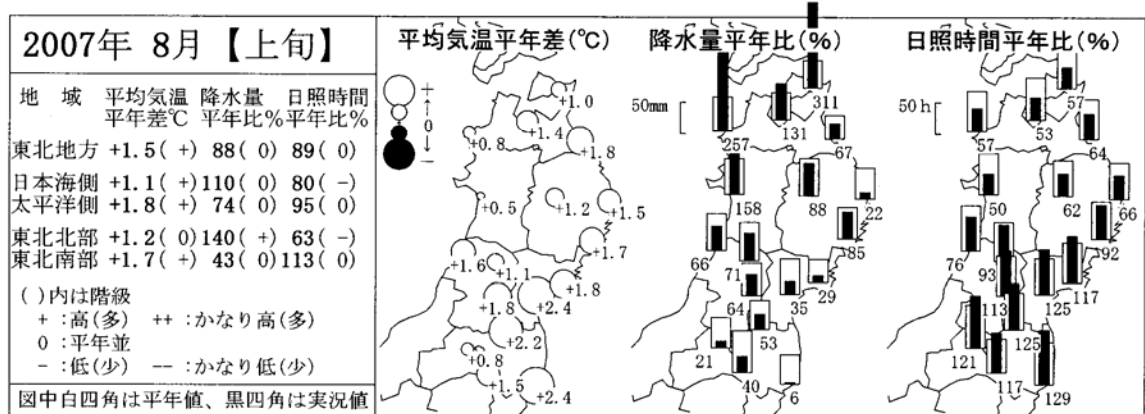
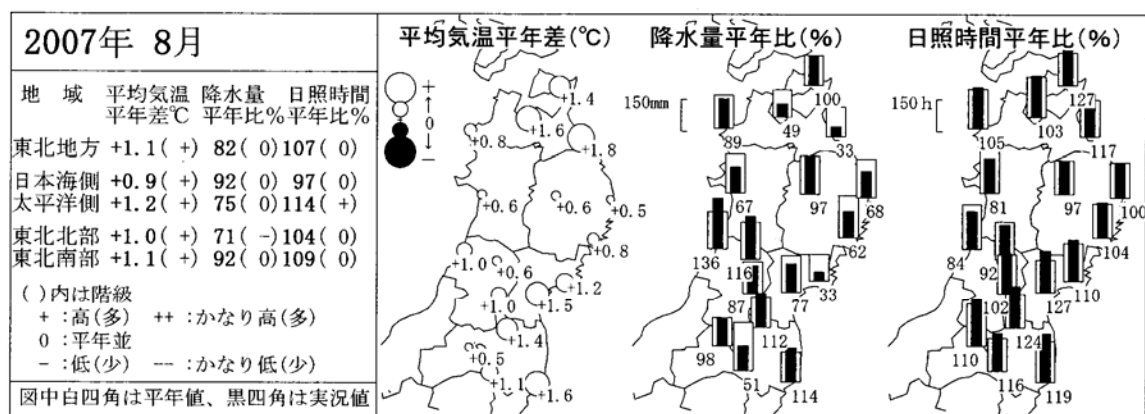
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2007年8月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2007 年 8 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	24.6	(+1.6)	+	63.0	( 49)	—	7	195.9	( 103)	○
深 浦	23.9	(+0.8)	+	139.5	( 89)	○	6	194.8	( 105)	○
む っ	23.1	(+1.4)	+	140.0	(100)	○	7	193.6	( 127)	+
八 戸	24.1	(+1.8)	+	45.5	( 33)	—	12	202.7	( 117)	+
秋 田	25.1	(+0.6)	○	121.5	( 67)	—	15	162.9	( 81)	—
盛 岡	23.8	(+0.6)	○	172.0	( 97)	○	15	154.0	( 97)	○
大 船 渡	23.8	(+0.8)	+	124.0	( 62)	○	9	167.3	( 104)	○
宮 古	22.7	(+0.5)	+	123.5	( 68)	○	9	165.9	( 100)	○
仙 台	25.6	(+1.5)	+	135.0	( 77)	○	10	197.4	( 127)	+
石 巻	24.7	(+1.2)	+	42.0	( 33)	—	8	195.4	( 110)	+
山 形	25.6	(+1.0)	+	130.0	( 87)	○	9	188.2	( 102)	○
新 庄	24.5	(+0.6)	○	202.5	(116)	+	15	162.5	( 92)	—
酒 田	25.9	(+1.0)	+	239.5	(136)	+	15	178.0	( 84)	—
福 島	26.6	(+1.4)	+	161.0	(112)	○	12	197.7	( 124)	+
若 松	25.3	(+0.5)	+	128.0	( 98)	○	12	220.1	( 110)	○
白 河	24.4	(+1.1)	+	117.5	( 51)	—	14	179.2	( 116)	+
小 名 浜	25.5	(+1.6)	+	162.0	(114)	○	9	230.1	( 119)	+

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い)      ○:平年並      -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

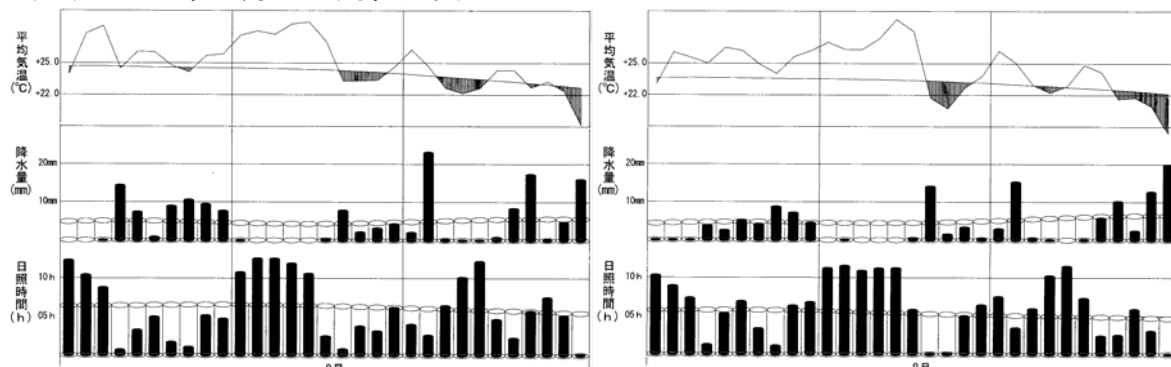
かなり高い(多い)      かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (5) 2007 年 8 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

# (6) 2007 年 8 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位までは無し。

8 月の日最高気温の高いほうからの順位更新(3 位まで)

順位	地点名	気温 ℃	これまでの最高 (西暦年)	開始年
1	大船渡	37.0	36.9 (1994)	1963
	仙台	37.2	36.8 (1929)	1927
	石巻	36.8	35.7 (1929)	1888
	白河	35.2	35.1 (1994)	1940
2	秋田	37.0 =	38.2 (1978)	1886
	盛岡	36.4	36.6 (1978)	1924
	小名浜	36.9	37.7 (1994)	1910
3	新庄	36.4	37.4 (1978)	1958
	酒田	37.1 =	40.1 (1978)	1937

8 月の猛暑日（日最高気温 35℃以上の日）多い方からの順位更新（3 位まで）

順位	地点名	日数	平年差	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値
1	石巻	1	+1.0	0 (2006)	1931	0.0
	小名浜	1 =	+0.9	1 (1996)	1961	0.1
2	大船渡	1 =	+0.8	3 (1994)	1963	0.2
	新庄	4	+3.4	6 (1994)	1961	0.6
	盛岡	2 =	+1.7	3 (1994)	1961	0.3
	福島	10 =	+6.7	15 (1994)	1961	3.3
	白河	1	+0.9	2 (1994)	1961	0.1
3	八戸	1 =	+0.7	2 (1999)	1961	0.3
	秋田	2 =	+1.2	9 (1999)	1961	0.8

8月の真夏日（日最高気温 30℃以上の日）多い方からの順位更新（3位まで）

順位	地点名	日数	平年差	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値
2	白河	21 =	+10.3	24 (1994)	1940	10.7
3	大船渡	12 =	+6.3	17 (1973)	1963	5.7

8月の日最低気温 25℃以上の日 多い方からの順位更新（3位まで）

順位	地点名	日数	平年差	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値
2	山形	1 =	+0.9	2 (1994)	1931	0.1
3	石巻	1 =	+0.7	4 (1994)	1931	0.3

## （7）2007年8月の真夏日・猛暑日・日最低気温 25℃以上の日数の極値・順位値

8月の真夏日日数 多いほうから（5位まで）

地点名	1位	年	2位	年	3位	年	4位	年	5位	年	統計開始年 (参考)
青森	20	1999	19	1985	19	1951	18	1984	17	1994	1931
深浦	19	1950	18	1999	18	1948	15	1943	12	1985	1940
むつ	16	1994	13	1999	13	1985	12	1951	10	1984	1935
八戸	19	1951	18	1985	17	1984	17	1973	16	1943	1936
秋田	28	2000	27	1938	25	1946	24	1985	23	1949	1931
盛岡	26	1946	24	1994	24	1985	21	1949	20	1999	1931
大船渡	17	1973	14	1994	12	2007	12	1990	12	1985	1963
宮古	18	1937	17	1944	17	1943	16	1999	16	1978	1931
仙台	23	1994	23	1973	20	1985	20	1951	18	1984	1927
石巻	15	1973	14	1951	13	1929	12	1994	12	1922	1887
山形	30	2000	30	1985	29	1943	28	1923	27	1973	1891
新庄	29	1985	28	2000	24	2006	23	1994	22	1984	1958
酒田	29	1985	27	2000	27	1938	26	1994	23	1999	1937
福島	29	1985	28	1973	27	1962	27	1945	26	1944	1931
若松	30	1985	29	2000	28	1994	27	1973	25	1984	1953
白河	24	1994	21	2007	21	1985	21	1973	20	1947	1940
小名浜	18	1947	10	1999	10	1995	10	1984	9	1951	1931

8月の猛暑日日数 多いほうから（5位まで）

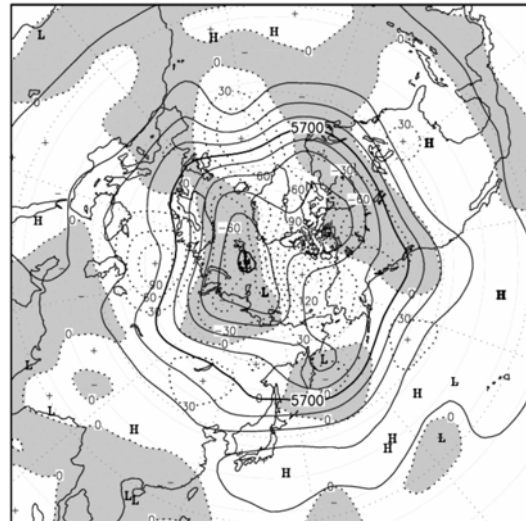
地点名	1位	年	2位	年	3位	年	4位	年	5位	年	統計開始年 (参考)
青森	2	1994	1	1999	1	1985	1	1975	1	1972	1961
深浦	1	1984	1	1983	1	1982	1	1978	1	1971	1961
むつ	0	2007	0	2006	0	2005	0	2004	0	2003	1961
八戸	2	1999	2	1971	1	2007	1	2006	1	1997	1961
秋田	9	1999	3	1985	2	2007	2	2006	2	2000	1961
盛岡	3	1994	2	2007	2	1999	1	2006	1	2005	1961
大船渡	3	1994	1	2007	1	1975	1	1973	0	2006	1963
宮古	4	1994	2	1973	1	2000	1	1999	1	1985	1961
仙台	4	1937	3	1990	2	2002	2	1994	2	1947	1927
石巻	1	2007	0	2006	0	2005	0	2004	0	2003	1931
山形	14	1994	12	1985	10	1929	9	1999	9	1943	1891
新庄	6	1994	4	2007	2	2005	2	1999	2	1984	1961
酒田	10	1999	7	1985	4	2006	4	1994	3	2004	1961
福島	15	1994	10	2007	10	1984	9	1999	9	1985	1961
若松	12	1994	9	1985	8	1999	8	1984	5	2007	1961
白河	2	1994	1	2007	0	2006	0	2005	0	2004	1961
小名浜	1	2007	1	1996	1	1994	0	2006	0	2005	1961

8月の日最低気温 25℃以上の日数 多いほうから（5位まで）

地点名	1位	年	2位	年	3位	年	4位	年	5位	年	統計開始年 (参考)
青森	2	1994	1	2005	1	1951	0	2007	0	2006	1931
深浦	5	1960	3	1961	3	1955	2	1985	2	1975	1940
むつ	1	1973	1	1961	1	1955	0	2007	0	2006	1935
八戸	2	1994	2	1985	2	1971	1	2005	1	1995	1936
秋田	9	1999	9	1994	7	2006	6	1985	4	1983	1931
盛岡	1	1999	1	1994	0	2007	0	2006	0	2005	1931
大船渡	3	1994	1	1973	0	2007	0	2006	0	2005	1963
宮古	1	1976	1	1957	0	2007	0	2006	0	2005	1931
仙台	7	1994	3	1990	3	1985	2	2007	2	2002	1927
石巻	4	1994	2	1990	1	2007	1	1999	1	1988	1931
山形	2	1994	1	2007	1	2002	1	2000	1	1978	1931
新庄	2	1983	1	2006	1	1999	0	2007	0	2005	1958
酒田	11	1994	10	1999	7	2006	6	1985	5	2007	1937
福島	12	1994	9	1999	7	1985	5	2007	5	1990	1931
若松	1	1994	1	1990	1	1983	1	1971	1	1960	1953
白河	1	1952	0	2007	0	2006	0	2005	0	2004	1940
小名浜	4	1994	3	1990	2	1999	2	1995	2	1988	1931

## (8) 2007 年 8 月の循環場の特徴

500hPa 高度では、南シナ海からインドシナ半島にかけては負偏差で、対流活動が活発であり、この対流活動に強められるように亜熱帯高気圧が日本列島をおおい、正偏差となっている。北緯 40 度以北では、正偏差と負偏差が交互に並び、偏西風の蛇行が明瞭に見られる。東シベリアから沿海州にかけ正偏差となっているが、オホーツク海高気圧の出現はなく、日本付近へ寒気が入ることはなかった。



2007 年 8 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎  
陰影部は負偏差（寒気に対応）

## (9) 2007 年 8 月前半の高温をもたらした要因

8 月前半は、太平洋高気圧の北への張り出しが強く、特に中旬は太平洋高気圧の勢力が強く晴れて気温の高い日が続いた。

太平洋高気圧が強まった要因としては、①亜熱帯ジェットのスラッグが大きくなり、日本付近で尾根となるような流れとなり、上層の高気圧が強まったと同時に、②フィリピン付近で対流活動が活発となり、その北側に当たる日本付近の下層の高気圧が強まったことの 2 つが考えられる(図参照)。

また、この夏はラニーニャ現象が発生しており、フィリピン付近を含む西部太平洋からインドネシア付近で対流活動が活発になった背景として、西部太平洋で海面水温が平年より高かったことが関連している可能性がある。

